

事業名	【新規】 第3期教育振興基本計画策定事業				
当初予算額	財源内訳 (単位：千円)				
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
34万2					34万2
事業期間	令和3年度 (単年度事業)			総事業費	34万2

【事業目的】

教育基本法（平成18年法律第120号）に示された理念の実現と、本市における教育振興に関する施策の総合的・計画的な推進を図るため島原市教育振興基本計画を策定します。策定にあたっては、国・県の教育振興基本計画を参酌し、島原市教育大綱や島原市市勢振興計画との整合性を保ちながら施策の具現化を図ります。

平成28年度に策定された第2期島原市教育振興基本計画（平成29年度～平成33年度）が令和3年度中に終期を迎えるため第3期計画（令和4年度～令和8年度）を策定します。

【事業概要】

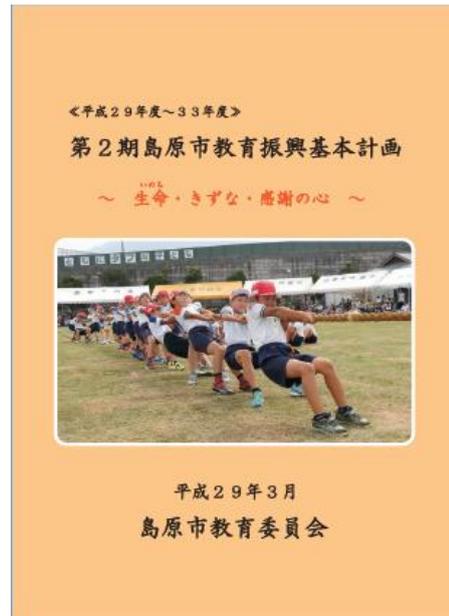
- 計画期間                   ・令和4年度から8年度までの5年間の計画
- 策定方法等               ・公募委員を含めた外部有識者による検討委員会設置
- ・意見公募（パブリックコメント）を市ホームページ等で実施
- ・数値目標を明示した成果指標設定

教育基本法《抜粋》

（教育振興基本計画）

第17条 政府は、教育の振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、教育の振興に関する施策についての基本的な方針及び講ずべき施策その他必要な事項について、基本的な計画を定め、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

2 地方公共団体は、前項の計画を参酌し、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体における教育の振興のための施策に関する基本的な計画を定めるよう努めなければならない。



平成28年度策定の  
第2期教育振興基本計画

科目	10款	1項	2目	目名称	事務局費	教育総務課
	前年度まで			今年度		来年度以降
事業計画	平成23年度 第1期教育振興計画策定 平成28年度 第2期教育振興計画策定			第3期教育振興基本計画策定 (令和4～8年度)		令和8年度 第4期教育振興基本計画策定 予定(令和9～13年度)

6. 島原の将来を担う子どもを育てる教育の充実

事業名	【新規】 小中学校適正規模適正配置検討委員会				
	財 源 内 訳 (単位：千円)				
当初予算額	国費	県費	地方債	その他	一般財源
14万8					14万8
事業期間	令和3年度～			総事業費	

【事業目的】

島原市立小・中学校の児童生徒数が減少する中で、少子化に対応した教育環境の充実を図るため、学校規模の適正化及び適正配置の検討を行います。また、学校を中心とした新たな地域コミュニティの創成も視野に入れ、学校施設の有効活用の在り方も検討します。

【事業概要】 ※別に定める設置要綱による

- 1 委員会の所掌事項
  - (1) 学校の適正規模に関すること
  - (2) 学校の適正配置に関すること
  - (3) その他教育委員会が必要と認めること
- 2 委員会の構成員（以下に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱する）
  - (1) 学識経験者
  - (2) 町内会・自治会代表者
  - (3) 保護者代表者
  - (4) 各種団体代表者
  - (5) 学校関係者
- 3 委員の任期  
委嘱・任命の日から、令和4年3月31日までとする。

【参考】 本市、小・中学校の学校規模の現状（令和2年度の普通学級数）

①小学校（10校）
・5学級以下…1校 三会小長貫分校
・6～11学級…6校 二小、四小、三会小、大三東小、高野小、湯江小
・12学級～18学級…3校 一小、三小、五小
・19学級～24学級…0校

②中学校（5校）
・2学級以下…0校
・3～8学級…4校 二中、三中、三会中、有明中
・9～18学級…1校 一中
・19学級以上…0校

科目	10款	1項	2目	目名称	事務局費	学校教育課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
		-			・委員会の立ち上げ ・会議の開催	

事業名	【継続】 豊後高田市・島原市兄弟校児童会交流事業				
	財源内訳 (単位：千円)				
当初予算額	国費	県費	地方債	その他	一般財源
108万0				108万0	
事業期間	平成11年度～			総事業費	

【事業目的】

豊後高田市・島原市の兄弟都市の契りを更に深め、両市小学生の活力を生む豊かな児童会交流を継続的にいき、21世紀の郷土を担う青少年の育成を目指します。

【主催】

豊後高田市・豊後高田市教育委員会 島原市・島原市教育委員会

【事業概要】

(1) 期間 令和3年8月5日(木)～7日(土) 2泊3日

(2) 活動

- ① 豊後高田市訪問団歓迎行事及び交流会
- ② 各兄弟校・交流校児童交流
- ③ 豊後高田市内施設等見学



【参加者】

- (1) 児童会代表 各小学校3名  
 三会小・大三東小各4名 計29人
- (2) PTA代表 1人
- (3) 引率者 島原市教育長(団長) 1人  
 教育委員会職員 5人  
 教職員(校長) 9人  
 (教諭・養護教諭1人を含む) 10人  
計55人

【島原市・豊後高田市兄弟校・交流校一覧】

	島原市	豊後高田市
兄弟校	第一小学校	桂陽(けいよう)小学校
	第二小学校	高田(たかだ)小学校
	第三小学校	河内(かわち)小学校
	第四小学校	戴星(たいせい)学園
	第五小学校	田染(たしぶ)小学校
	三会小学校	草地(くさじ)小学校
	三会小学校	呉崎(くれさき)小学校

交流校	大三東小学校	真玉(またま)小学校
	大三東小学校	白野(うすの)小学校
	高野小学校	三浦(みうら)小学校
	湯江小学校	香々地(かかち)小学校

【成果】2年に1度互いの市を訪問することで、兄弟都市について知ることができ、それぞれの郷土の伝統、風習を知ることができています。また訪問校で全校集会に参加し兄弟校児童との交流が図られています。さらに滞在期間中は、ホームステイをすることになっており、児童同士また保護者間の交流・関係が深まっています。

科目	10款	1項	2目	目名称	事務局費	学校教育課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	上記事業を実施			上記事業を実施		引き続き実施予定

事業名	【継続】 小中学校学力向上対策事業				
	財源内訳 (単位：千円)				
当初予算額	国費	県費	地方債	その他	一般財源
584万8				584万8	
事業期間	平成26年度～			総事業費	

【事業目的】

児童生徒の学力の検証軸として、本市独自の学力調査を実施することにより、学力の定着状況を把握・分析し、各学校における取組の充実・改善に役立てます。定着が不十分な学習内容については、学習問題配信サービスを用いて補充をし、確かな学力を身に付けることを目指します。併せて、小中学生の英語力やコミュニケーション能力の向上を目的とし、夏季休業中に外国語指導助手を活用したイングリッシュキャンプを実施します。なお、学術面における市独自の賞を創設することにより、児童生徒の学力向上の推進・学習意欲の向上を図ります。また、講師を招聘し教職員を対象とした教育講演会や、大学教授等を招いた研修会、授業研究を実施することで、教職員の指導力の向上を目指します。

【事業概要】

学力の定着状況の  
把握・指導の改善

児童・生徒の  
学力向上の推進  
・学習意欲の向上

① 本市独自の学力調査の実施

- ・検証軸として学力調査を設けます。
  - (1) 対象：小学2・3・4年生、中学1年生  
教科：国語、算数（数学） 実施期間：令和2年度1学期
  - (2) 対象：小学2・3・4・5・6年生、中学1・2年生  
教科：小学校（国語、算数）中学校（国語、数学、英語）  
実施期間：令和2年度3学期  
方法：調査問題及び集計等は、外部委託をします。

② 市内小中学校学習問題配信サービス

- (1) 対象・教科：小学1年～6年生・国語、算数、理科、社会  
中学1年～3年生・国語、数学、英語
- (2) 方法：問題配信は、外部委託をします。

③ ユネスコ・ジオパーク島原市イングリッシュキャンプ

- ・小中学生の英語力やコミュニケーション能力の向上を目的とし、夏季休業中に外国語指導助手を活用したイングリッシュキャンプを実施します。

④ 稽古館奨励賞

- (1) 対象：小学6年生9人、中1・2・3年各5人、計24人
- (2) 交付基準：市・県・全国学力調査の結果による学業及び文化・ボランティア活動で優秀であり、品行方正 出席状況 生徒会活動等他の模範となる児童生徒
- (3) 表彰：賞を贈ります。

科目	10款	1項	2目	目名称	事務局費	学校教育課
	前年度まで			今年度		来年度以降
事業計画	①本市独自の学力調査 小2・3・4, 中1・2 教科 国語・算数(数学)・英語 ②学習問題配信サービス 小学1～6年国語・算数・理科・社会 中学1～3年国語・数学・英語			①本市独自の学力調査 小2・3・4, 中1・2 教科 国語・算数(数学)・英語 ②学習問題配信サービス 小学1～6年国語・算数・理科・社会 中学1～3年国語・数学・英語		引き続き実施予定

事業名	【継続】 外国語指導助手招致事業					
当初予算額	財源内訳 (単位：千円)					
	国費	県費	地方債	その他	一般財源	
3,143万3					3,143万3	
事業期間	平成6年度～			総事業費		
<p>【事業目的】 児童生徒が外国語指導助手の協力を得て、言語や文化に対する理解を深めることと、実践的コミュニケーション能力の基礎を養うことを目的としており、グローバル化した社会で「生き抜く力」を育成します。また、令和2年度から新学習指導要領の全面実施に伴い、小学3・4年生から外国語活動（週1時間）が始まり、小学校5・6年生で英語が正式教科（週2時間）となったことから、ALTを活用した授業が受けられるようにしています。</p> <p>【事業概要】 《配置人数》 7人（全小・中学校対象） 《配置校》 一中、二中、三中、三会中、有明中、一小、大三東小 《訪問校》 二小、三小、四小、五小、三会小、三会小長貫分校、高野小、湯江小 外国語指導助手（ALT）を7人体制で配置することで、小学1年生から中学3年生のすべての学級において、ALTを活用した英語教育を行います。</p> <p>《活動内容》 ①授業における支援 ・教科担任のアシスタントとして授業をサポートします。 ・授業中に児童・生徒に対して、積極的に働きかけ、実践力を身に付けさせます。 ②授業内容の計画作成における連携 ・教科担任等からの要望により、指導案を共に作成し、授業での役割分担を明確にした効果的な指導につなげます。 ③教材研究 ・児童・生徒の実態に即した教材を作成します。</p> <p>【成果】 ①全小・中学校を訪問し、授業で活用します。 活用状況（令和元年9月） 1日平均 3.8時間 ②島原市独自のユネスコ・ジオパーク島原市イングリッシュキャンプを実施しています。 ③学校の掲示板にALTのコーナーを設け、外国の文化の紹介等を行うことによって、児童生徒の外国語に対する興味・関心を高めるのに役立っています。</p>						
科目	10款	1項	2目	目名称	事務局費	学校教育課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	上記事業を実施			上記事業を実施		引き続き実施予定



6. 島原の将来を担う子どもを育てる教育の充実

当初予算書
275P

事業名	【継続】 不登校児童生徒適応指導事業				
当初予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)				
	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
338万2					338万2
事業期間	平成8年度～			総事業費	

【事業目的】

心理的又は情緒的理由により登校できない状況にある児童生徒に対し、個別や小集団での相談・指導を行いながら、学校への復帰を目指し、集団生活に適応する力を育てます。

【事業概要】

〔要因・背景〕

「不安など情緒的混乱」「無気力」の割合が多いと言われていましたが、いずれの理由が主であるか決めがたい複合の割合が最近多く、要因・背景の複合化や多様化の傾向があります。そういう中、上記事業目的を持って設置してある本市適応指導教室は、多様なニーズに対応できる機関の一つとしてその存在価値は大きいものになっています。

〔対策〕 ※令和2年10月現在の状況  
島原市適応指導教室  
【ひまわり教室】（本市事業）

- ・相談員：2人
- ・通級者：小学生1人、中学生3人
- ・仮通級者：小学生0人、中学生2人



**1週間の生活(例)**

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
9:30	通級時間				
9:40	朝の活動				
10:00	朝の会				
10:50	ひまわり タイム	学習タイム			
11:00	休み時間				
11:50	学習タイム			自由タイム 軽スポーツ	ひまわり タイム
13:00	昼食・昼休み				
13:30	通室報告・読書タイム				
14:30	軽スポーツ	チャレンジ 登校	陶芸教室	ALT 茶道教室	チャレンジ 登校
15:30	清掃・帰りの会				
	帰 宅				

科目	10款	1項	2目	目名称	事務局費	学校教育課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	上記事業を実施			上記事業を実施		引き続き実施予定

事業名	【新規】 統合型校務支援システム導入事業				
当初予算額	財源内訳				(単位：千円)
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
400万4					400万4
事業期間	令和3年度～			総事業費	

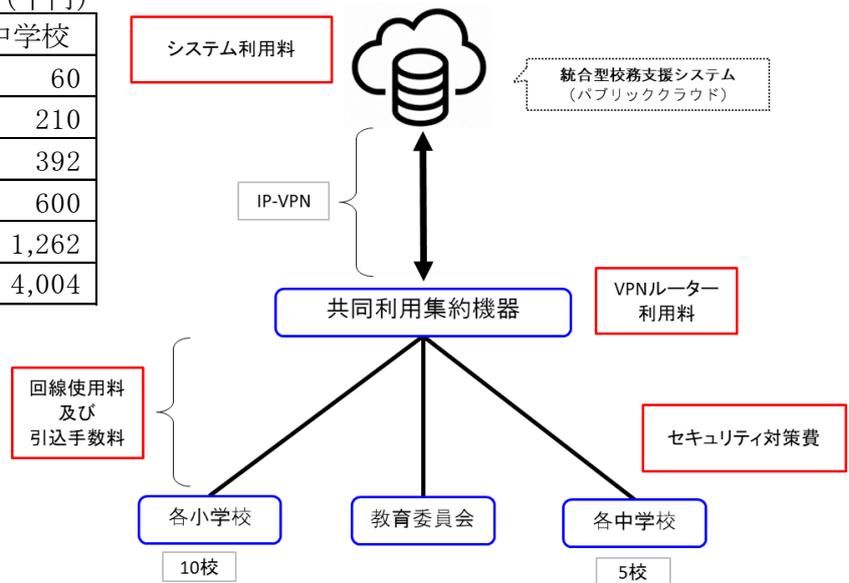
【事業目的】

教員の業務負担と長時間労働を軽減し、教育の質を向上させることを目的に、令和4年度から運用を開始する予定の統合型校務支援システム（長崎県推奨システム）の導入を図ります。

【事業概要】

(経費) (千円)

区分	小学校	中学校
回線使用料	132	60
回線引込手数料等	429	210
システム利用料	861	392
セキュリティ対策費	1,320	600
計	2,742	1,262
合計	4,004	



(システム機能)

- ・通知表作成及び指導要録作成 (評価・評定の算出、名簿・出席・成績情報の確認及び入力など)
- ・授業準備 (指導案作成、教材作成、準備全般に関する業務など)

(スケジュール)

令和4年1月システム導入（3ヶ月間試験運用） ⇒ 令和4年4月本格稼働

(導入のための必須条件)

- ・インターネットからの遮断、分離
- ・ウイルス対策
- ・学習系ネットワークから分離

科目	10款	2,3項	1目	目名称	学校管理費	教育総務課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	—			契約事務 システム導入等		運用開始 事業継続

6. 島原の将来を担う子どもを育てる教育の充実

当初予算書  
279P、287P

事業名	【継続】 学校司書配置事業				
当初予算額	財源内訳 (単位：千円)				
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
1,328万8					1,328万8
事業期間	平成16年度～			総事業費	
【事業目的】 読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、創造力を豊かなものにするなど、人生をより豊かに生きていくうえで欠くことができないものです。 そこで、児童・生徒や教職員に適切な情報提供を行うことができる「学校司書」を配置することで、学校図書館環境の整備を図り、児童・生徒の読書活動を推進します。					
【事業概要】					
配置人数	14人 (全小・中学校)				
勤務	週3日 (年間) 123日程度				
勤務時間	1日6時間				
活動内容	① 経営的活動 ・入室者数、貸出冊数、学習利用等の統計 ・図書ボランティアとの連携 ② 技術的活動 ・図書館資料の収集、分類、展示、修理・製本、点検及び廃棄、書架の管理 ③ 奉仕的活動 ・図書の貸出やレファレンスサービス、読みかたり、お話し会の実施 ・図書相談、学習資料の提供、広報活動 ④ 教育的活動 ・図書委員や図書館使用学級への援助 ・司書教諭や担任との連携				
【成果】					
図書貸出冊数 (年間1人平均) の推移					(単位：冊)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
小学校	160.7	170.4	173.6	166.8	173.4
中学校	20.1	21	23.8	25.5	25.3
科目	10款	2・3項	2目	目名称	教育振興費
事業計画	前年度まで			今年度	
	上記事業を実施			上記事業を実施	
				学校教育課	
				来年度以降	
				引き続き実施予定	

事業名	【継続】 学習支援員配置事業				
当初予算額	財源内訳 (単位：千円)				一般財源
	国費	県費	地方債	その他	
2,259万2		433万7			1,825万5
事業期間	平成20年度～			総事業費	

【事業目的】

小・中学校において児童生徒の学力向上のために、学級担任及び教科担任等の補助として授業に入り、学習活動上のサポートを行います。

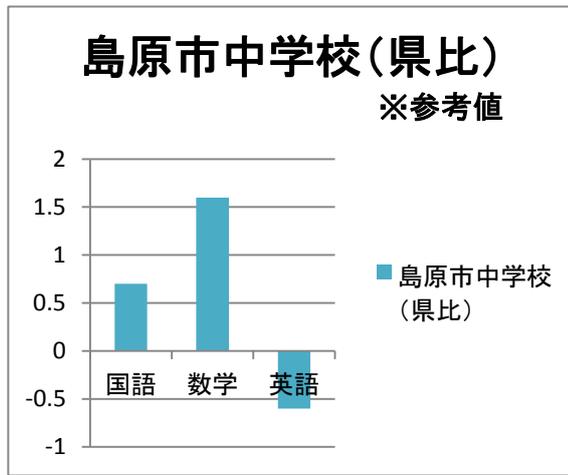
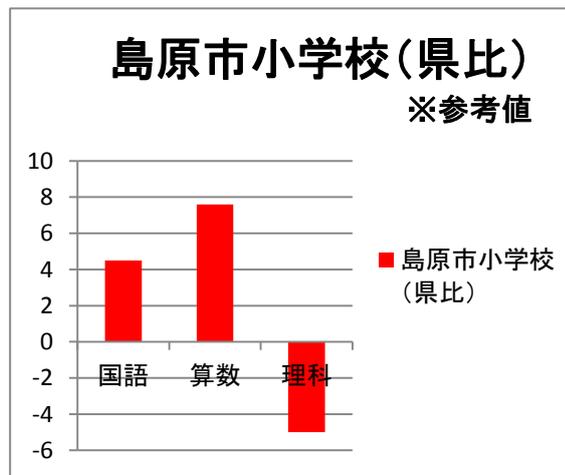
また、教育上特別の支援を必要とする障害のある児童生徒に対し、食事、排泄、教室の移動補助等、学校における日常生活動作の介助を行います。さらに、発達障害の児童生徒に対し、学習活動上のサポートを行い、障害等に応じた適切な教育を実施します。

【事業概要】

- 配置人数 20人 (全小・中学校)
- 勤務 週5日
- 勤務時間 1日5時間
- 活動内容
  - ①児童生徒の学習活動の補助
  - ②児童生徒の抱える学習上の困難に対する支援
  - ③発達障害の児童生徒に対する学習支援、学習活動、教室間移動等における介助
  - ④運動会(体育大会)、学習発表会、校外活動等の学校行事の支援
  - ⑤支援方法等の打ち合わせ
  - ⑥その他校長が指示する事項

【成果】 (令和2年度県学力調査の結果から)

- 小学校国語、算数、中学校国語、数学の平均正答率が県平均を上回りました。
- 小学校理科、中学校英語の平均正答率が、県平均を下回りました。



※今年度については、参考値の扱いになります。

科目	10款	2・3項	2目	目名称	教育振興費	学校教育課
	前年度まで			今年度		来年度以降
事業計画	上記事業を実施			上記事業を実施		引き続き実施予定

6. 島原の将来を担う子どもを育てる教育の充実

当初予算書  
279P

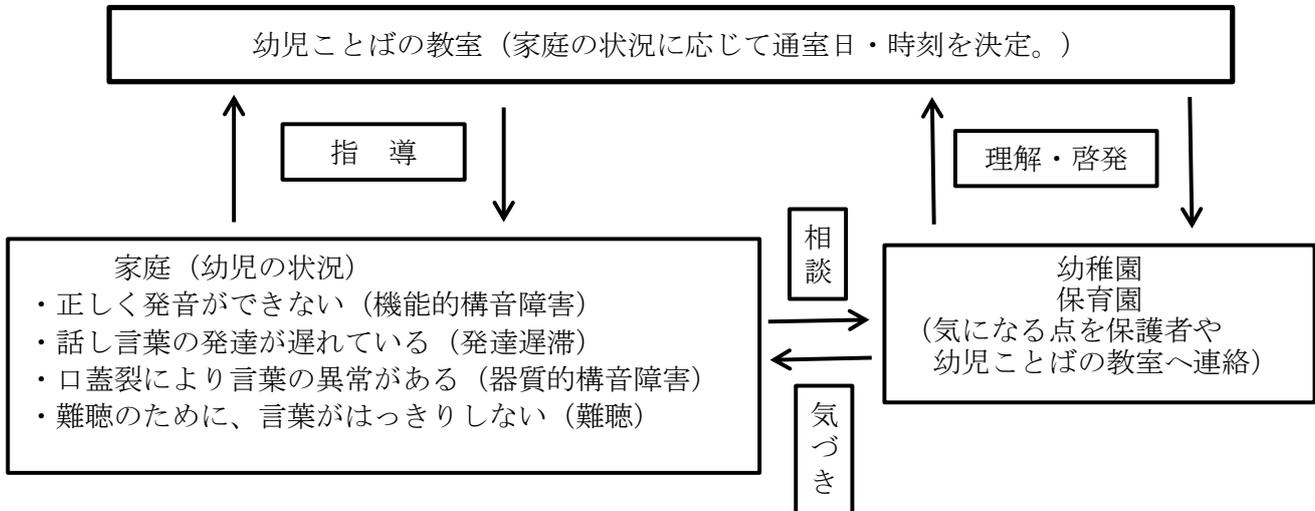
事業名	【継続】 幼児ことばの教室設置事業				
当初予算額	財源内訳 (単位：千円)				一般財源
	国費	県費	地方債	その他	
117万4					117万4
事業期間	平成11年度～			総事業費	

【事業目的】

言葉に課題のある幼児に関する指導及び相談を行うことにより、課題の改善及び克服を図るとともに、心身の健やかな成長を目指します。

【事業概要】

設置場所 島原市萩が丘二丁目5688番地（第二小学校内）  
 開設日時 週4日（火曜～金曜）  
 勤務時間 1日4時間  
 活動内容 指導員1人配置し、下図のような連携を図りながら指導・相談を行います。



【成果】

	平成30年度	令和元年度
教育相談	33件	35件
入室児	30人	25人
退室児	24人	17人

科目	10款	2項	2目	目名称	教育振興費	学校教育課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	上記事業を実施			上記事業を実施		引き続き実施予定

事業名	【継続】 小・中学校 ICT 推進事業				
	(単位：千円)				
当初予算額	財 源 内 訳				
	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,210万1				1,210万1	
事業期間				総事業費	

【事業目的】

G I G Aスクール構想により、令和2年度に整備した通信ネットワーク強化及び一人一台パソコン配備の環境を活用・維持していくために必要な保守管理の委託やICT支援員を配置し、事業の推進を図ります。

【事業概要】

○ICT支援員

令和2年度から小学校においてプログラミング教育が必修化され、また、G I G Aスクール構想に基づくネットワーク強化や一人一台環境が整備されるなど、今後の学習活動において積極的にICTを活用することが想定されることから、ICT支援員を1人増員し、2人を配置します。

- ・報酬・職員手当他 合計5,848,600円

○フィルタリングソフト：i-フィルター

学校内及び在宅学習での調べもの学習の際に、危険なサイトや不健全なサイトに誤って接続しないように導入を図ります。

- ・初期費用+年間3070ライセンス契約 合計3,740,000円

○ネットワークトラブル等への対応：保守契約

約3000台の経験したことのないネットワーク管理となるため、トラブル対応等の保守契約を締結します。

- ・合計1,980,000円

○公衆送信補償金

著作権法の改正により、インターネットを使用した授業において無許諾で著作物を利用することが可能になりましたが、その代わりに授業目的公衆送信補償金等管理協会に児童生徒数に応じた補償金を支払うものです。

- ・児童：@120円×2,300人×1.10=303,600円
  - ・生徒：@180円×1,150人×1.10=227,700円
- 合計531,300円



科目	10款	2,3項	2目	目名称	教育振興費	教育総務課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	ICT支援員1人雇用等			ICT支援員2人雇用 ライセンス契約等		事業継続

6. 島原の将来を担う子どもを育てる教育の充実

当初予算書  
283P、291P

事業名	【継続】 小・中学校就学援助事業				
当初予算額	財源内訳 (単位：千円)				一般財源
	国費	県費	地方債	その他	
5,477万0	7万0				5,470万0
事業期間				総事業費	

【事業目的】

小学校及び中学校に在学する児童生徒の学用品費や給食費などについて、経済的な理由により就学困難な児童生徒の保護者に対し、就学援助制度により支援を行うことで、健康で学びに専念できる環境(学校、家庭)を充実させ、将来を担う子どもたちの健全な「人づくり」を目指します。

【事業概要】

援助の内容と積算明細

※学校給食費については、食数により算定  
※( )は令和2年度平均額

区分	費目	単価(円)	人数	金額(千円)	
小学校	学用品費	1年	11,630	60	698
	学用品費	2-6年	13,900	269	3,739
	学用品費(オンライン通信費)	全学年	6,000	339	2,034
	学用品費(新入学用品費)	1年	51,060	73	3,728
	修学旅行費	6年	実費(22,690)	63	1,430
	校外活動費	5年	実費(3,000)	62	186
	社会科見学活動費	4年	実費(3,000)	50	150
	医療費		実費(4,913)	196	963
	学校給食費		実費(240)	68,901	16,537
	通学費		実費(60,000)	1	60
小学校 計				29,525	
中学校	学用品費	1年	22,730	60	1,364
	学用品費	2-3年	25,000	119	2,975
	学用品費(オンライン通信費)	全学年	6,000	179	1,074
	学用品費(新入学用品費)	1年	60,000	76	4,560
	修学旅行費	2年	実費(60,910)	60	3,655
	校外活動費	1年	実費(3,000)	60	180
	医療費		実費(6,861)	108	741
	学校給食費		実費(280)	38,200	10,696
中学校 計				25,245	
全体 合計				54,770	

認定者数及び認定率の推移

(R2.10現在)

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
認定者数 (年度末)	小学校	337人	346人	349人	328人
	中学校	192人	189人	172人	181人
	合計	529人	535人	521人	509人
認定率 (年度末)	小学校	14.61%	14.97%	14.98%	14.40%
	中学校	16.95%	16.74%	16.43%	16.00%
	合計	15.38%	15.55%	15.43%	14.93%

科目	10款	2・3項	2目	目名称	教育振興費	教育総務課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	上記事業を実施			上記事業を実施		引き続き実施予定

6. 島原の将来を担う子どもを育てる教育の充実

事業名	【継続】 小・中学校施設整備事業					
当初予算額	財源内訳 (単位:千円)					
	国費	県費	地方債	その他	一般財源	
1億1,821万4			4,420万0	3,930万0	3,471万4	
事業期間				総事業費		
【事業目的】						
<p>学校は、児童生徒が一日の大半を過ごす教育施設であり、学校教育を進める上で安全上、保健衛生上、指導上その他の学校教育の場として適切な環境の確保を図ります。</p>						
【事業概要】						
<p>学校施設の営繕・管理について、各小中学校において現場の調査確認を行い、危険性・緊急性・必要性等を考慮し修繕・工事を実施します。</p>						
《事業内訳》						
○小学校	(単位:千円)		○中学校	(単位:千円)		
・ 修繕料	7,500		・ 修繕料	3,500		
・ 工事請負費	71,000		・ 委託料	1,414		
合計	78,500		・ 工事請負費	34,800		
			合計	39,714		
《主な工事の概要》						
	工事名称	工事概要				
小学校	第五小学校 国道拡張に伴う改修工事	国道57号大下歩道整備事業に伴う、第1棟校舎陶芸室解体、キュービクル移設、学校樹木伐採、駐車場整備、飼育小屋移設				
	一小・三会小 普通教室等エアコン更新工事	故障している普通教室等のエアコン7基の更新				
	一小・二小・三小・四小 トイレ洋式化工事	一小3基、二小3基、三小3基、四小4基、合計13基の和式トイレを洋式化				
中学校	三会中学校 キュービクル更新工事	平成3年度設置から29年を経過し、耐用年数の20年を大幅に超えているキュービクルの更新				
	一中・有明中 浄化槽内部配管改修工事	浄化槽内部配管が腐食し、正常な機能を果たせていないため改修				
	第三中学校 普通教室エアコン更新工事	故障している普通教室のエアコン5基の更新				
科目	10款	2・3項	3目	目名称	学校整備費	教育総務課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	施設整備を計画的に実施			施設整備を計画的に実施		引き続き計画的に実施

6. 島原の将来を担う子どもを育てる教育の充実

当初予算書
287P

事業名	【継続】 心の教室相談員配置事業				
	財源内訳 (単位：千円)				
当初予算額	国費	県費	地方債	その他	一般財源
446万0					446万0
事業期間	平成10年度～			総事業費	

【事業目的】

中学校において、生徒が悩み等を気軽に話せ、心のゆとりを持てるような環境を提供し、生徒のストレスを和らげることのできる第三者的存在として、全中学校に「心の教室相談員」を配置し、生徒や保護者の悩みや不安を聞くなどの相談活動を実施します。

【事業概要】

《事業主体》 島原市

《事業概要》 配置人数5人（全中学校に各1人）  
勤務時間 3校 週4日 1日5時間（第一・第二・有明中学校）  
2校 週3日 1日4時間（第三・三会中学校）  
活動内容①生徒の悩み相談や話し相手、家庭訪問等を実施し、学校における教育相談を行います。  
また、生徒のみならず、保護者との関わりを含めた相談活動の実践に努めます。  
不登校ぎみの生徒については、特に電話等を活用した家庭との連携を密にした相談活動を目指します。  
②地域における情報収集、地域と学校の連携及び支援を行います。  
③その他、学校の教育活動の支援を行います。

【成果】

より多くの子どもたちの悩みに対応できたかどうかは、相談員としての重要な成果指標です。そのため、相談件数を成果の目標としてあげています。

[相談件数]・・・446件（R2年7月末現在）

[内容]・・・いじめ、不登校、友人関係、異性関係、家族問題、健康、子育て、非行、学習・進路、教師との関係等。

科目	10款	3項	2目	目名称	教育振興費	学校教育課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	上記事業を実施			上記事業を実施		引き続き実施予定

事業名	【継続】 地域おこし協力隊文化財活用事業				
当初予算額	財源内訳				(単位：千円)
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
554万2					554万2
事業期間	平成30年度～令和5年度 (複数年度事業)			総事業費	2,695万9

【事業目的】

地域おこし協力隊の制度を活用し、埋蔵文化財の啓発や、古文書の解読、古文書資料等の漫画化を行い、島原の歴史を広く市民へ発信し、島原の歴史や文化財に対する理解と関心を高めます。

【事業概要】

- 地方自治体が、都市住民を受け入れ委嘱。地域おこし活動の支援や農林漁業の応援、住民の生活支援など「地域協力活動」に従事してもらい、あわせてその定住・定着を図りながら、地域の活性化に貢献します。
- 古文書資料の漫画化、文化財保護の啓発などを行う者を引き続き雇用します。
- 総務省による支援・財政支援（特別交付税）  
 隊員1人につき470万円上限（＝報酬等（上限270万円）+活動費（上限200万円））  
 対象経費＝隊員の「活動」に要する経費、隊員の「定住」「起業」「就農」等の支援に要する経費
- 期間概ね1年以上最長3年  
 ※3年を超える場合は特別交付税による支援は受けられないが活動継続は可能

【効果】

島原の歴史や魅力を発信することにより、市民の郷土への愛着が育まれるとともに、観光客等の交流人口の増加が見込まれます。  
 本市の歴史や文化財を市民に身近に感じてもらい、文化財保護への理解促進が見込まれます。



歴史漫画『墨是可新話』（めしこしんわ）を作成する庄司隊員



中尾隊員が作成した文化財と飲食店を紹介するパンフレット「かるちゃー食」

科目	10款	4項	1目	目名称	社会教育総務費	社会教育課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	古文書解読、古文書資料の漫画化、埋蔵文化財啓発などを行えるものを雇用し、各々の役割で資料や情報の収集、松平文庫に関連した企画展や講演会などの実施。			歴史漫画及び市内文化財の魅力発信するパンフレットの刊行。		歴史漫画の公開と市内文化財の掘り起こしを継続し、文化財の活用方法について検討。

3. 歴史と文化を活かした観光都市づくりと交流人口の拡大

当初予算書  
299P

事業名	【継続】 所蔵古文書調査事業費				
	財源内訳 (単位：千円)				
当初予算額	国費	県費	地方債	その他	一般財源
299万7	149万8	29万9			120万0
事業期間	平成30年度～令和5年度 (複数年度事業)			総事業費	2,256万6

【事業目的】

本市は、旧島原藩主・松平家から寄贈された歴史的な史料「肥前島原松平文庫（長崎県指定有形文化財）」をはじめ、島原藩の藩士家に伝えられた数多くの史料を所有しています。「肥前島原松平文庫」は目録が刊行されていますが、その他の史料については、ほとんどが未調査、未整理で、目録も刊行されていません。

島原藩や近代島原の歴史について調査研究を進めるために、これらの未整理史料約8,000点を早急に調査・整理し、報告書（目録）を刊行し、情報発信を行います。

また、調査のなかで得られた新知見をもとに、企画展示やシンポジウムなどを積極的にを行います。こうした一連の事業を通じて、広く市内外に島原の新たな歴史像・地域像を発信・提示し続けることで、本市が所有する貴重な史料を地域の活性化に役立てます。

【事業概要】

資料を、旧所蔵先をひとまとまりとして、1点ずつ調査します。調査内容は、表題付け、部分解読（内容把握、作製年代推定）、形状特定、法量・員数計測などを行います。

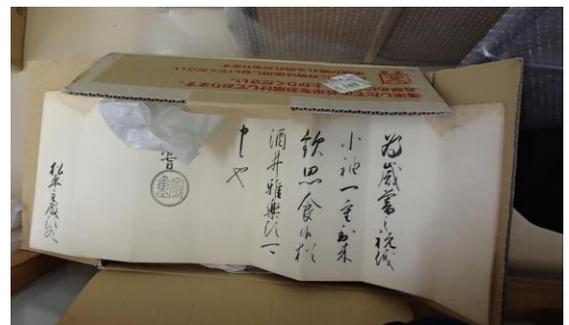
その後、調査項目をデータ入力し、目録化を行い、報告書を刊行します。

調査対象資料はおよそ13,000点を見込んでおり、平成30年度から令和4年度までの4ヶ年は、年間2,500点を目標に資料調査し仮目録を作成します。

平成30年度から令和2年度までの調査成果を中心とした調査報告書上巻（目録、仮名称）を令和3年度に編集作業を行い、令和4年度上半期に刊行します。また、令和3・4年度の調査成果は、令和5年度に調査報告書下巻（目録仮名称）として刊行する予定です。



寄贈された資料の当初の状態



科目	10款	4項	1目	目名称	社会教育総務費	社会教育課
	前年度まで			今年度		来年度以降
事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査指導委員会の設置</li> <li>資料群の調査順序・方針の策定</li> <li>資料調査開始</li> <li>表題付け、部分解読（内容把握、作製年代推定）、形状特定、法量・員数計測</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>調査指導委員会の開催</li> <li>資料調査</li> <li>表題付け、部分解読（内容把握、作製年代推定）、形状特定、法量・員数計測</li> <li>大型絵図等デジタル撮影</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>調査指導委員会の開催</li> <li>資料調査</li> <li>調査報告書作成</li> </ul>

事業名	【新規】 文化財保存活用地域計画作成事業				
当初予算額	財源内訳 (単位：千円)				
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
771万9	386万8				385万1
事業期間	令和3年度～令和5年度 (複数年度事業)			総事業費	

【事業目的】

本市に所在する貴重な歴史や文化、自然、伝統的な技術など多様な文化財（地域資源）を、「指定文化財」という重点保護の枠組みにとらわれず、総合的に把握し、その価値を保全し活用することで、市民が地域に住み続けることの誇りの醸成や文化観光などの推進による地域活性化を進めていくための基本となる行動計画作成します。

【事業概要】

本市に所在する文化財を「島原の歴史」等から抽出し、現地調査（現存の有無・種別・年代・所在地等）を行い、地区別、年代別、種類別の観点から考察を行い、島原市全体の文化財について総合的に保存・活用するための行動計画作成します。計画作成にあたっては、学識経験者（大学教授等6人）や市民（4人）で構成される作成検討委員会を組織します。

文化庁地域文化創生本部の文化芸術振興費補助金から計画作成の事業費の2分の1が補助されます。

【効果】

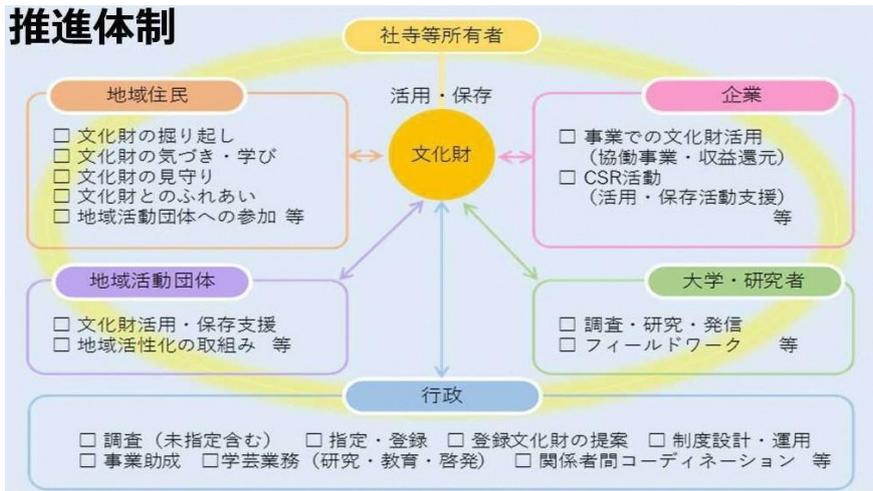
本市の文化財保護の取組の方向性を明示、周知することにより、様々な関係者や市民の理解・協力を得て、地域社会総がかりによる、より充実した文化財の保存・活用をとおして、地域活性化が進むと見込んでいます。

地域計画が文化庁から認定されれば、人材育成や普及啓発事業に補助が受けられます。

【事業スケジュール】

- 令和3年度
  - 文化財抽出及び現地調査
  - 計画作成検討委員会開催
- 令和4年度
  - 文化財現地調査
  - 計画作成検討委員会開催
- 令和5年度
  - 計画作成検討委員会開催
  - 地域計画書刊行
  - 文化庁へ認定申請
- 令和6年度
  - 地域計画認定（文化庁）

推進体制



行動計画の推進体制の例(福井県小浜市)

科目	10款	4項	1目	目名称	社会教育総務費	社会教育課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	—			<ul style="list-style-type: none"> <li>文化財抽出及び現地調査</li> <li>計画作成検討委員会開催</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>文化財現地調査</li> <li>計画作成検討委員会開催</li> <li>地域計画書刊行</li> <li>文化庁へ認定申請</li> </ul>

6. 島原の将来を担う子どもを育てる教育の充実

事業名	【継続】 放課後子ども教室推進事業				
	財源内訳 (単位：千円)				
当初予算額	国費	県費	地方債	その他	一般財源
278万4		92万1			186万3
事業期間	平成20年度～			総事業費	

【事業目的】

子どもの居場所を確保し、安全で安心して子育てができる環境づくりに寄与し、自主学習習慣の育成、地域人材との交流を図るため、夏休みに全地区公民館で「スクールキッズ」を、放課後に学校の施設を利用し全小中学校で「放課後子ども学習室」を実施します。

【事業概要】

- 「スクールキッズ」…希望する小学生を集め、静かな環境で自学の習慣を身につけさせます。夏休みの第2週の4日間の午前中  
(26年度 2公民館、27年度 4公民館、28年度から 7公民館)
- 「放課後子ども学習室」…放課後1時間に学校の余裕教室を開放し、宿題等の指導を行います。  
26年度 1校(小学校)・27年度 10校(9小学校、1中学校)  
28年度から 14校(9小学校、5中学校)

【スタッフ】

- 「スクールキッズ」…退職校長会2人(質問部屋配置)、公募の見守指導員1人(自習部屋配置)を各公民館に配置します。
- 「放課後子ども学習室」…見守学習支援員1人以上を各校に配置します。

【効果】

学力向上、自学習習慣定着、子どもの居場所づくり、少子化対策



科目	10款	4項	1目	目名称	社会教育総務費	社会教育課
事業計画	前年度			今年度		来年度以降
	スクールキッズ	7地区公民館		スクールキッズ	7地区公民館	引き続き継続予定
放課後子ども学習室	9小学校、5中学校		放課後子ども学習室	9小学校、5中学校		

事業名	【継続】 霊丘公民館大規模改修事業				
当初予算額	財 源 内 訳				(単位：千円)
	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1億9,400万0			1億7,460万0		1,940万0
事業期間	令和2年度～令和3年度 (複数年度事業)			総事業費	2億550万0

【事業目的】

公民館は、地域住民の最も身近な学習施設として多様な学びの機会や交流の場を提供し、よりよい地域社会づくりに大きく貢献する場であるとともに、災害時には地域住民の避難所としての役割を果たす極めて重要な施設であることから、修繕・工事など適切な営繕管理を行い施設の安全性を確保することが必要です。本施設においては、昭和50年建築（鉄筋コンクリート造）から45年が経過し老朽化も進み、内外壁の痛みも激しいことから、大規模な改修を行います。

【事業概要】

令和2年度 設計業務  
 令和3年度 改修工事業務  
 長寿命化のため、屋上防水、外壁及び窓の改修  
 和室及びトイレの段差解消  
 老朽化した高圧電気設備の更新

◇施設概要 【建築年】 昭和50年竣工 【面積】 970.21㎡  
 【構造】 鉄筋コンクリート造 3階建

雨漏



ひび割れ



外壁



科目	10 款	4 項	2 目	目名称	公民館費	社会教育課
	前年度まで			今年度		来年度以降
事業計画	・ 霊丘公民館大規模改修に係る設計業務			・ 霊丘公民館大規模改修		-

6. 島原の将来を担う子どもを育てる教育の充実

事業名	【継続】 フッ化物洗口推進事業				
当初予算額	財源内訳 (単位：千円)				
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
52万0					52万0
事業期間	平成27年度～			総事業費	
【事業目的】					
<p>島原市は、むし歯を持つ子どもとそうでない子どもの二極化がみられ、子どもの年齢が上がるにつれてむし歯の本数が増える現状にあります。12歳児の一人当たりのむし歯の本数は、これまでのフッ化物洗口の取組の効果があってか、長崎県平均より低い数値を示すようになってきています。ただし、全国平均にはまだ及ばないため、今後も集団によるフッ化物洗口を小学校において継続することで、むし歯予防を定着させ、市内の子どものむし歯の低減を図ることを目的としています。</p>					
【事業概要】					
実施対象	小学校1～6年生の希望者（全児童が希望した場合、約2300人）				
実施方法	フッ化物洗口液10mLで、1分間「ぶくぶくうがい」をします。 使用薬剤…ミラノール顆粒11%				
実施日時	週1回（年間 小学校42週）				
必要物	・薬剤（ミラノール） ・カルシウム飲料 ・紙コップ ・ペットボトル				
費用	<p>■消耗品 紙コップ 1個の値段 約1.5円 年間でかかる費用 約147千円 ペットボトル 年間でかかる費用 約25千円</p> <p>■薬剤費 薬剤 1人分（1回）のフッ化物洗口水溶液 0.1包（10ml） 1包の値段 約35円 1回にかかる費用 約8千円 1年間にかかる費用 約341千円 カルシウム飲料 年間でかかる費用 約7千円</p> <p>消耗品費172千円+薬剤費348千円=520千円</p>				
科目	10款	5項	1目	目名称	保健体育総務費
事業計画	前年度まで			今年度	学校教育課
	全小・中学校実施			全小学校実施	来年度以降 引き続き実施予定

事業名	【継続】 平成新山 島原学生駅伝				
当初予算額	財源内訳 (単位：千円)				
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
1,612万8				1,612万8	
事業期間	平成10年度～			総事業費	

【事業目的】

この大会を冬の一大スポーツイベントとして定着させ、平成新山を冠する大会として、島原半島ジオパークはもとより、島原の魅力・情報を発信することで交流人口の拡大と地域の活性化に努めます。

【事業概要】

《経緯》平成10年度に、1市16町が協力して、「島原・雲仙学生駅伝」として第1回目を開催し、平成20年度からは、本市1市での開催となり市内一円にコースを設定し、男女ともにロードレースとして開催しています。

《主体》平成新山 島原学生駅伝大会 実行委員会

※構成団体は以下のとおり。( )内は主な役割。

- ①九州学生陸上競技連盟 (大会・選手運営及びエントリ関係・式典催事)
- ②島原市 (会場及びコース管理・大会運営)
- ③長崎陸上競技協会、島原市陸上競技協会 (競技運営)
- ④長崎国際テレビ (報道関係・大会広報)

《期間》 開始：男子：平成10年度～ 女子：平成17年度～

期 日：12月 第1土曜日 (H10、H11、H25、H26 除く、R2は中止)

《内容》

- ・九州学生駅伝対校選手権大会 7区間 57.80キロ (島原市内コース)
- ・九州学生女子駅伝対校選手権大会 5区間 22.85キロ (島原市内コース)



科目	10款	5項	2目	目名称	スポーツ振興費	スポーツ課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	上記事業を実施 (令和2年度は中止)			上記事業を実施		上記事業を実施予定

6. 島原の将来を担う子どもを育てる教育の充実

事業名	【継続】 JFAこころのプロジェクト「夢の教室」				
	財源内訳 (単位：千円)				
当初予算額	国費	県費	地方債	その他	一般財源
282万4					282万4
事業期間	平成26年度～			総事業費	

【事業目的】

スポーツ選手とそのOB・OGが、夢を持つことの素晴らしさや夢に向かって努力することの大切さなどを子どもたちと語り合う「夢の教室」を開催することで、子どもの情操教育の充実を図ります。

【事業概要】

「夢の教室」公演事業

主催 島原市、公益財団法人日本サッカー協会

対象 市内全小学校第5学年

「カリキュラムの内容」

小学校の正規の授業2時間（90分間）を利用して行います。

●【前半】 ゲームの時間（35分）

体育館で、体を動かしながら、グループで一つの目的を達成するゲームや競争を通じて、目的のために協力すること、相手を思いやる心、フェアプレー精神を、実技の中で気付いてもらう時間です。

①自己紹介（5分）

②サブゲーム（15分）

③メインゲーム&まとめ（15分）

（※夢先生の専門競技をするわけではありません。）

●【後半】 トークの時間（55分）

夢先生の体験談をもとに、児童とともに夢について語り合う時間です。

①夢先生の夢トーク（35分）

②みんなの夢（15分）

③エンディング（5分）



科目	10款	5項	2目	目名称	スポーツ振興費	スポーツ課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	市内小学校第5学年 全クラス実施			市内小学校第5学年 全クラス実施		市内小学校第5学年 全クラス実施予定

3. 歴史と文化を活かした観光都市づくりと交流人口の拡大

当初予算書  
325P

事業名	【継続】 東京2020オリンピック・パラリンピック事前キャンプ事業				
当初予算額	財源内訳				(単位：千円)
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
2,473万3				875万8	1,597万5
事業期間	令和3年度 (単年度事業)			総事業費	

【事業目的】

東京2020オリンピック・パラリンピック大会における事前キャンプを本市で行ってもらい、参加国等とのスポーツを通じた相互交流や地域活性化を図ります。

【事業概要】

スペインレスリング及びドイツパラリンピック陸上競技の東京2020オリンピック・パラリンピック大会の事前キャンプ受け入れを行い、選手が最高のコンディションで大会に臨めるようにします。

スペインレスリング連盟視察の様子



ドイツ障害者連盟(陸上競技)視察の様子



科目	10款	5項	2目	目名称	スポーツ振興費	スポーツ課
	前年度まで			今年度		来年度以降
事業計画				上記事業を実施		

事業名	【継続】 宝くじスポーツフェア「ドリーム・サッカーin島原」				
	財源内訳 (単位：千円)				
当初予算額	国費	県費	地方債	その他	一般財源
135万2				135万2	
事業期間	令和3年度 (単年度事業)			総事業費	

【事業目的】

長崎県及び一般財団法人自治総合センターと連携し、サッカーを通じて青少年の健全育成や、明るいまちづくりなど地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与することを目的に開催します。

【事業概要】

サッカー元日本代表選手の華麗な技術やスピードなどを体感させることで、子ども達へ夢を与える機会を創出します。また、市民とのドリーム・サッカーを通じた交流を積極的に進め、本市のスポーツに対する意識高揚や更なるスポーツ振興、地域の競技力アップに努めることで交流人口の拡大と地域の活性化を図ります。

- 期 日 令和3年9月25日(土)・26日(日) 2日間  
※開催日の最終決定は3月末の予定(未公表)
- 場 所 島原市営陸上競技場(雨天の場合：島原復興アリーナ)
- 参加選手 約20人
- 内 容

【第1日目】

- ①サッカー指導者クリニック
  - ・対象/少年少女サッカーチームの指導者等
  - ・人数/40～50人程度

【第2日目】

- ①少年少女サッカー教室
  - ・対象/小学5～6年生のサッカー経験者
  - ・人数/200～250人程度
- ②親善試合「ドリーム・ゲーム」
  - ・ドリームチーム対島原市代表チーム
- ③ドリーム抽選会
  - ・対象/来場者
  - ・賞品/出場選手のサイン入りボールなど

●費用

- 原則、自治総合センターが負担  
(開催地負担経費分)
- ・会場及び付帯施設、設備の提供と運営経費
  - ・運営スタッフの提供経費
  - ・参加者、出場者の募集と管理経費
  - ・開催告知及び集客経費
  - ・選手等の送迎経費
  - ・選手、スタッフの昼食等経費



(参考：足利市チラシ)



(参考：足利市記念撮影)



(参考：足利市サッカー教室)

科目	10款	5項	2目	目名称	スポーツ振興費	スポーツ課
	前年度まで			今年度		来年度以降
事業計画	—			サッカー指導者クリニック・少年少女サッカー教室・ドリームゲーム		—

事業名	【新規】 有明プール屋根漏水修繕工事				
当初予算額	財源内訳				(単位：千円)
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
440万0					440万0
事業期間	令和3年度 (単年度事業)			総事業費	

【事業目的】

有明プールの雨漏りがひどく観覧場所については、雨漏り時は横転の危険があり立ち入りができない状況にあるため、屋根の修繕工事を行います。

【事業概要】

2階観覧場雨漏り状況(海側床)



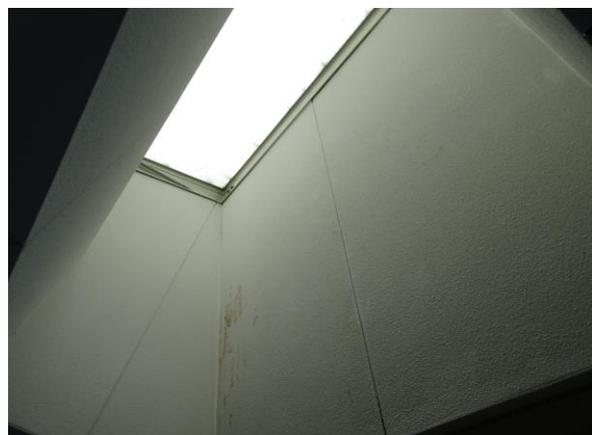
2階観覧場雨漏り状況(山側床)



2階観覧場雨漏り状況(中央床)



2階観覧場(山側天井)



科目	10款	5項	2目	目名称	スポーツ振興費	スポーツ課
	前年度まで			今年度		来年度以降
事業計画				上記事業を実施		

事業名	【新規】 有明学校給食センターボイラー更新工事				
当初予算額	財源内訳				(単位：千円)
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
160万0					160万0
事業期間	令和3年度～令和4年度 (複数年度事業)			総事業費	2,499万8

【事業目的】

安全・安心な学校給食を提供するため、施設の維持管理を行います。

【事業概要】

有明学校給食センターは、平成14年に新設され、17年が経過しています。厨房設備に関しては、定期的に保守点検を実施するなどし、適宜修繕等を行い設備の維持管理に努めています。

特にボイラーについては、耐用年数の15年が過ぎ、毎年修繕が発生しているところです。ボイラーは調理釜や食洗機の熱源として、毎日使用しており、今後突発的な設備の不具合が生じた場合、給食の提供ができないなどの恐れがあるため、更新を行います。



ボイラ 2機



バルブ (手動)



科目	10款	5項	3目	目名称	学校給食費	教育総務課
	前年度まで			今年度		来年度以降
事業計画				設備設計		更新工事